

秋の彩り



へう ちよき ばあ

うんと大きく開いた手を赤く染めて

秋の陽射しをいっぱい受け止める

そこ吹く風は暑さを和らげて

開いた手を くまべつと過ぎつて

「モミジ」という植物名はなく、秋に紅葉するものを総じて呼んでいます。木の葉が赤や黄に変わる様子を「紅葉（もみぢ）」と言ったことが語源です。また、「カエデ」のなかで葉の切れ込みが深く、特に紅葉の美しい種類を「モミジ」と呼ぶという説もあります。「カエデ」の語源は「蛙手（かえるで）」から転じたもので、葉の切れ込みが浅く、まるで蛙の水かきのようにみえることによります。英語では「カエデ」も「モミジ」も「メープル」と呼び、カナダ産の「カエデ」の樹液からとったものが「メープルシロップ」です。

奥山に 紅葉ふみわけ 鳴く鹿の

声きく時ぞ 秋はかなしき

猿丸太夫(百人一首)